

# 2010 年度 心コミ大賞 映像作品部門 審査結果並びに講評

<審査員> 菊地、後藤、小幡、俵

## 【映像作品部門】

心コミ大賞:菊地杯

「No Life, No Futsal.」 有好 佐記

審査員特別賞

「Ultimate」

三浦 奏

「オリター2010」

中村 裕介

## 講評:

映像作品部門への応募は6編で、それぞれ、制作者の想いがこめられた個性的な作品がそろいました。それだけに、審査員の評価、意見も多彩となり、審査は難航しましたが、心コミ大賞と審査員特別賞を決めました。審査員特別賞の2編は、製作に当たっての主題が明確で、完成度を高めていました。

心コミ大賞:菊地杯 「No Life, No Futsal.」 有好 佐記

心コミ大賞:菊地杯には総合点でトップとなりました「No Life, No Futsal.」を選出しました。

\*けだるさが漂い始める昼下がりの大学の教室に、一個のフットサルボールが転がってきて、学生たちがそれを次々と蹴りながら、様々なシーンを描いてゆきます。

ボールに導かれて生き生きとリズムカルに変化する表情からは、つないでゆくことの楽しさとその大切さが作品のテーマになっているように印象づけられます。構成、演出、撮影・編集、映像とBGMのマッチングも良く、制作者の感性と仲間たちとのいい呼吸が、伝わってきます。

審査員特別賞 「Ultimate」 三浦 奏

まだマイナーではあるがこれがこのスポーツの魅力だという「Ultimate」。

導入部で字幕を入れ、動きの激しいゲームを丁寧にフォローする撮影は秀逸。実音を重ね、モノクロからカラーへと編集効果を上げています。構成を練り、更にレベルアップを。

審査員特別賞 「オリター2010」 中村 裕介

新入生歓迎会の一日を、主催する学生の側からとらえた「オリター2010」。

相当量の映像の中からカットを選び、巧みに編集しました。記録を、後輩に伝えてゆこうとの制作者の意思が感じられます。学外の方にも内容が理解できるよう、もうひと工夫を。

他の応募作品への講評は以下の通りです。

賞から漏れた3編も力作ぞろいでした。これからの作品作りに、大きな可能性が感じられました。

「だい・どん・でん」 守重 美奈

街頭での光景を、短編に凝縮しての迫力が見事です。

「Good bye school days」 佐藤 宣生

モノログ映像ともいふべき、情感に魅かれます。

「心コミアピール」 國松 有里香

アニメ独特のチャーミングな動きと表情が素敵です。